

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

平成29年10月3日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
大阪デザイナー専門学校	昭和52年4月1日	青山 直	〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-3-20 (電話) 06-6345-4676																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-5283-9757																			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																	
文化・教養	デザイン専門課程	インテリアデザイン学科		平成 6年文部科学省 告示第 84 号																		
学科の目的	インテリア空間が人に及ぼす影響を理解し、空間ごとに異なる条件下において求められる空間の質的向上を目指し、専門知識、設計・デザインスキル、デジタルスキルの習得に取り組む。																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験 実技																
2 年	昼間	1,920 時間	572 時間	68 時間	1,280 時間																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
120 人	40 人	2 人	3 人	5 人	8 人																	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 課題評価、試験等の評価による																	
長期休み	■夏季：7月26日～9月5日 ■冬季：12月20日～1月9日 ■春季：3月20日～4月4日			卒業・進級 条件	■卒業条件：規定単位の修得及び卒業課題に 合格し、且つ学費の完納者。 ■進級条件：規定単位の修得及び進級課題に 合格する。																	
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 本人及び保護者へのカウンセリング等			課外活動	■課外活動の種類 学校祭、研修旅行等 ■サークル活動：無																	
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 株式会社スペース、株式会社総合デザイン 株式会社大京リフォームデザイン ■就職指導内容 業界・職種研究、履歴書・作品集指導、模擬面接、模擬グループ ディスカッション等 ■卒業者数 22 人 ■就職希望者数 22 人 ■就職者数 20 人 ■就職率 : 90.9 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 90.9 % ■その他 内 結婚：1名、留学希望：1名 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リビング スタイリスト</td> <td>③</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>パース検定</td> <td>③</td> <td>14</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	リビング スタイリスト	③	12	6	パース検定	③	14	10				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
リビング スタイリスト	③	12	6																			
パース検定	③	14	10																			
中途退学 の現状	■中途退学者 8 名 ■中退率 17.0 % 平成28年4月1日時点において、在学者 47名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者 39名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 経済的な理由、病気療養、家庭の事情、進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 欠席者への日々の電話連絡、学校行事(学校祭、合宿等)への参加促進																					
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 校友会入学時奨学金制度、校友会進級時奨学金制度、AO特待生制度 ■専門実践教育訓練給付： 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科の ホームページ URL	http://www.odc.ac.jp																					

授業科目等の概要

(デザイン専門課程 インテリアデザイン学科) 平成 29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			空間計画	住空間、商業空間のそれぞれの計画、デザイン手法を学ぶ	1前	34	2	○			○			○	
○			建築デザイン史	日本、西洋の建築様式を時代とデザインとの関係性から学び、空間デザインを提案する知識とする。	1前	34	2	○			○			○	
○			空間デザイン概論Ⅰ	日本のデザイナー、作品を中心に、空間構成要素を学び、デザイン性、作品性、意図などを考える。	1前	34	2	○			○		○		
○			空間研究Ⅰ	リサーチ、ケーススタディを重ね、デザイナーの視点、プラン、表現方法についての理解を深める。	1前	34	2	○			○		○		
○			空間デザイン概論Ⅱ	海外のデザイナー、作品を中心に、空間構成要素を学び、デザイン性、作品性、意図などを考える。	1後	34	2	○			○		○		
○			空間研究Ⅱ	デザインに対する嗜好、価値観を共有し、より魅力的な空間を提案するグループワークによるスタディ	1後	34	2	○			○		○		
○			材料学	仕上材料に関する知識とその特性に関して学ぶ。	1後	34	2	○			○			○	
○			構造学	木構造、RC構造等の構造形式と仕上材料の施工方法に関しての理解を深める。	1後	34	2	○			○			○	
○			パースⅠ	空間イメージをスケッチとして表現するための基礎技術力の習得を目指す。	1前	68	4		○		○			○	
○			パースⅡ	空間イメージをスケッチとして表現するための応用表現力の習得を目指す。	1後	68	4		○		○			○	
○			インテリア製図	木造、RC造建築物の基本図面表現を学ぶとともに、構造、施工に関する知識の習得を目指す。	1通	136	4		○		○			○	
○			CAD製図	Vector Works の基本操作技術 (2D、3D) を学び、コンピュータでの図面作制能力を育成する。	1通	136	4		○		○			○	
○			設計基礎	基本的な空間設計力の習得から、空間計画、空間演出に求められる視点、スキル向上を計る	1通	136	4		○		○			○	
○			インテリアデザイン基礎	発想、企画立案から計画、設計、プレゼンテーション至る手法を基礎から学ぶ。	1通	136	4		○		○			○	
○			見学実習	空間を実体検することで、感覚で空間を理解する姿勢を育成し、魅力について考察する機会とする。	1通	68	2			○	○	○			
合計			12 科目		1,020 単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し、且つ卒業制作を受理されること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(デザイン専門課程 インテリアデザイン学科) 平成 29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			カラーコーディネート基礎	人と室内空間との調和を計る色彩デザインの在り方を探る。	2通	60	2	○			○			○	
○			作家作品論	近現代の日本、西洋の建築デザイン様式および思想を学び、教養的知識とする。	2通	60	2	○			○			○	
○			空間デザイン概論	ゲスト講師を招いての講座。リアルタイムで流通するデザイン手法、商品知識等を学ぶ。	2通	60	2	○			○		○		
○			ワークショップ	ゲスト講師を招いての講座。産学連携課題の指導を通じ、実社会でのデザインワークを学ぶ。	2通	60	2		○		○		○		○
○			デジタルワーク	photoshop、illustrator の基本から応用まで幅広く学び、デジタルスキルの向上を目指す。	2通	120	4		○		○			○	
○			CAD設計	Vector Works でのレンダリングテクニック向上と、インテリア図面制作スキルの向上を目指す。	2通	120	4		○		○			○	
○			専攻実習	コース目的に特化した課題制作をとおり、より専門性の高い作品制作を行う。卒業制作へ移行する。	2通	120	4		○		○			○	
	○		スタイリング演習	実現場を対象としたディスプレイテクニックを学ぶ。	2通	120	4		○		○			○	
	○		リビングスタイル	基本的な住空間の設計手法を学ぶと共に、家族の物語を演出するデザイン力の向上を目指す。	2通	120	4		○		○			○	
	○		ショップスタイル	ショップデザインにおけるマテリアル、照明、造形要素等の在り方に関して学ぶ。	2通	120	4		○		○			○	
	○		3D CAD	より精緻な3D画像の制作および、3Dアニメーションの制作手法を学ぶ。	2通	120	4		○		○			○	
	○		コーディネート概論	インテリアコーディネート資格取得を目標とし、その知識、態度の育成を目指す。	2通	120	4	○			○			○	
○			ジョブエクササイズ	業界理解、模擬面接、グループディスカッション、作品集制作等、希望の就職実現を目指す。	2通	60	2	○			○		○		
合計				13 科目		900 単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し、且つ卒業制作を受理されること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。